

## B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2026

## 攻守にわたりチームけん引

プロバスケットボールのBリーグに所属する全40チームの中を勝ち抜いた4チームと、海外チームなどが出場する国際大会「B.LEAGUE U18 INTERNATIONAL CUP 2026」が、10日から15日の期間、東京都の国立代々木競技場で開催され、大阪エヴェッサU18に所属する山本大扇選手(16)＝橿原市在住・清風高校＝が大会MIPに選ばれた。エヴェッサのシューターとしてスタメン出場した山本選手は全試合で得点を重ね、8人のみが選出されるMIPの個人表彰を受けた。

B1大阪エヴェッサU18所属

山本選手MIP受賞

国際大会で全試合スタメン出場、得点

インターナショナルカップへの出場権は、リーグの全40チームが激突する昨秋に開催された「B.LEAGUE U18 CHAMPIONSHIP 2025」で勝ち抜いた4チームのみに与えられる。この大会でエヴェッサは創設初のベスト4まで勝ち進み出場権を得た。インターナショナルカップはこの4チームに海外リーグの選抜チームなどを加えた8チームが出場した。

山本選手は3Pシュートを得意とするシューターのポジション。11日に対戦した今大会で優勝を果たしたオーストラリアの「Victoria州選抜」戦では、身長差30センチ以上ある2人を越える選手らに対して果敢に攻め、アウトサイドから

2本の3Pシュートを沈めたほか、会場を沸かせるドライブからのレイアップなどで得点を重ねた。

また大会中に2度対戦した「B.LEAGUE U18選抜チーム」との試合では3Pシュートを含む12得点、7リバウンド、もう1試合では11得点、3リバウンドと、攻守にわたってチームをけん引した。

全試合にスタメン出場し、全試合で得点を重ねた山本選手は、出場した8チームからそれぞれ活躍した選手一人をリーグが選考して贈るMIPの個人表彰を受けた。

指揮したエヴェッサの鳥和成ヘッドコーチは「彼の持つシュート力をいかに

く発揮してくれた。オフエンスだけでなく、あれだけディフェンスリバウンドを取ってくれたのは、この大会を通じて成長を見させてくれた。まだ高校2年生。来年の中心選手になる自覚と覚悟を見せた大会だったと思う」と評した。

山本選手を中学時代に指導した清風中バスケットボール部の長谷川徹顧問は「昨秋のリーグの大会でベスト4に入った快挙にも驚いたが、海外チームいわれる世界大会の中、どんな場面でも緊張する様子もなく、堂々としていることに大きな成長を感じ、自分のことのようにうれしかった。この精神的な成長をたしかなものに、さらなる高みを目指してほしい」と、教え子の成長と活躍を喜んでいる。

